

(様式第1号) (第9条関係)

事業基本計画書

2025年 6月 13日

長野県知事 様

事務所所在地：長野県駒ヶ根市赤穂11465-6
名称：ネクストエナジー・アンド・リソース株式会社
代表者氏名：代表取締役社長 伊藤 敦

長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例第9条第1項（第21条第3項、第27条及び附則第6項において準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

太陽光発電施設の設置の場所	長野県駒ヶ根市赤穂11465-27	
事業区域の位置及び面積	約 992.0 m ²	
太陽光発電電力施設の合計出力	40.0kW (太陽電池の合計出力 70.8kW)	
太陽光発電事業の内容及び実施予定期間	発電電力の用途	<input checked="" type="checkbox"/> 売電 <input type="checkbox"/> 自家消費 設備ID (AF35077C22)
	設置工事着手予定日	2025年12月15日
	設置工事完了予定日	2026年1月31日
	運転開始予定日	2026年2月1日 (※既設の設備は2015年7月3日に運開済)
	施設撤去予定日	2035年7月3日
太陽光発電施設の設置に関する計画	別添「太陽光発電施設設置計画書」参照	
太陽光発電施設の構造に関する事項	地上設置型太陽光発電システムの設計ガイドライン等を参照の上、設計会社による構造（強度）計算を行い、架台について風雪に耐えられる強固なものとする。	
景観の保全のための措置の検討に関する事項	別添「景観の保全のための措置の検討状況書」参照	
環境の保全のための措置の検討に関する事項 ※（環境配慮区域に太陽光発電施設に設置する場合に限る。）		
維持管理計画に関する事項	別添「維持管理計画」参照	
関係市町村長及び関係住民の範囲並びにその根拠	範囲	事業地から半径100メートルの範囲の居住者・土地所有者
	根拠	駒ヶ根市生活環境課 環境保全係に確認 駒ヶ根市市場割区宮の前自治組合 自治組合長に確認

事業基本計画説明会の開催の日時及び場所	日 時	2025年7月10日（木）10：00 ※参加希望者は7月7日までにご連絡をください。
	場 所	上の原集会所 ※開催が決まり次第、正式に予約を行います。
意見の提出先	①郵送先 長野県駒ヶ根市赤穂11465-6 ネクストエナジー・アンド・リソース株式会社 新規事業推進部 宛 ②メールアドレス re-pj@nextenergy.jp	
土地の権原の取得予定	所有権を取得済。 ※太陽光発電設備は本社の事業所の敷地内に存する。	
地域社会に資する事項	会社全体としてカーボンフリーかつ持続可能な地域社会づくりに貢献している。	
備考	連絡先 (電話番号) 0265-98-6800 (FAX番号) 0265-98-6858 (電子メールアドレス) re-pj@nextenergy.jp	

注1 該当する□内に△印を記入すること

- 2 「太陽光発電施設の設置の場所」欄は、提出に係る太陽光発電施設の事業区域が所在する土地の地番全て記載すること。
- 3 「事業区域の位置及び面積」欄には、小数第1位まで記載すること。
- 4 「太陽光発電施設の合計出力」欄は、小数第1位まで記載すること。
- 5 「発電出力の用途」欄は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（平成23年法律第108号）第9条第1項の規定による申請手続中の場合は、その旨を記載すること。
- 6 「備考」欄には、電話番号、FAX、電子メールアドレス等の連絡先を記載すること。

景観の保全のための措置の検討状況書

項目	検討事項	配慮する内容
全体	(1) 稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないように、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	・斜面や高台ではない。 ・土地の造成等を行わない計画とした。
	(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、完成予想図の作成(シミュレーション)等を実施する。 ※検討で作成した完成予想図は添付すること	・事業敷地内に設置されている太陽光発電所を更新する事業であり、主要な道路や公共的な眺望点から見えるものではないが、完成予想図を作成した。※添付
配置	(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	・敷地は主要な道路には隣接していない。
	(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	・事業敷地内に設置されている太陽光発電所を更新する事業であり、事業敷地内に対する施設の規模は比較的小さいため、分割は行わない。
規模	(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	・事業敷地内に設置されている太陽光発電所を更新する事業であり、周辺からの視界を遮ることはない。
	(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	・事業敷地内に設置されている太陽光発電所を更新する事業であり、主要な道路や公共的な眺望点から見えるものではない。
形態・意匠	(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	・効率の良い角度で揃えて配置した。
	(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	・パネルの角度は20度としているが、周囲の建築物と整合性を損なうものではない。

		(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	<ul style="list-style-type: none">・事業敷地内に存するものであり、フェンスで遮られ見えにくい。・道路側から太陽光パネルの裏面は見えない。
--	--	-----------------------------------	--

項目		検討事項	配慮する内容
太陽電池 モジュール	材料・ 色彩等	(1) 低反射のものを選択するか防眩処理を施す等、太陽光の反射を低減する対策を行う。また、素材の結晶が目立たないものを選択する。	・本リパワリング工事で設置する太陽光パネルはAR (Antil Reflection) コートを施しており、ガラス表面での太陽光の反射を軽減する仕様である。
		(2) 黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。	・太陽光パネルは黒色である。 ・太陽光パネルのマンセル値は、1.5PB(青紫)～8.2PB(青紫)/2.0/2.0であり、明度・彩度共に非常に低い。
	フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。	素材はアルミであり、低反射である。
		(2) 太陽電池モジュールと同系色を用いる。	シルバーとする。
附帯施設・ 附属施設	(1) フェンス等については、色彩、形態・意匠に配慮する。	事業敷地内に存するものである。事業敷地のフェンスは景観に配慮した茶色である。	
	(2) 電柱電線類については、極端に増加させないように、低減に努める。	事業敷地内に存する太陽光発電設備を更新する事業であり、新設する電柱はない。	
	(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧器等の付属設備については、色彩等に配慮する。	白色であり、目立たない場所に設置する。	
敷地の緑化	(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発揮できるよう、根巻きを行った苗などの使用を検討するとともに、植栽間隔や苗木の大きさに配慮する。	敷地には草が生えており敷地の緑化に役立っている。	
	(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低木性の樹種を避け、地域に適した植生とする。	特に外来種及び低木性の樹種を選択することはない。	
その他	(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地に反射光の影響が懸念される場合は、配置や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へい措置について検討する。	主要な道路には面しておらず、反射光の影響は軽微と考えられる。	
	(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど、適切に維持管理を行い、景観の保守に努める。	維持管理計画を立て、それに沿って管理を行う。	
	(3) 事業区域場所の景観行政団体の定める景観育成基準への適合を確認する。	事業用地が景観計画区域に該当しており、駒ヶ根市都市計画課景観建築係に対応の要否を確認したが、本事業により外観に	

		<p>大きな変更点等がないため、<u>対応不要</u>と回答を得ている。</p> <ul style="list-style-type: none">・事業敷地内に設置されている太陽光発電所を更新する事業であるが、上記を踏まえ、外観に大きな変更がないように留意する。
--	--	---

上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。

(参考様式) (第 19 条関係)

維持管理計画

作成日

2025 年 6 月 13 日

太陽光発電施設の設置場所	長野県駒ヶ根市赤穂 1 1 4 6 5 - 2 7	
事業者名 (法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名)	所在地：長野県駒ヶ根市赤穂 1 1 4 6 5 - 6 事業者名称：ネクストエナジー・アンド・リソース株式会社 代表者名：代表取締役社長 伊藤 敦	
保守点検責任者	氏名及び住所	氏名：岸 正悟 住所：長野県駒ヶ根市赤穂 1 1 4 6 5 - 6
	電話番号	0 2 6 5 - 9 8 - 6 8 0 0
合計出力	40.0 kW	
維持管理の内容	別紙のとおり	
施設撤去予定日 (事業終了予定日)	2035 年 7 月 3 日	
損害保険の加入状況	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
太陽光発電施設を撤去する際の対応	太陽光発電事業終了後は現状回復を予定している。	
維持管理計画及び状況の公表方法	閲覧希望者への提示	

※標識に掲示することにより公表する場合には、標識の記載項目と同一のところは記載を省略することができます。

<太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置の内容>

○強風による飛散

- ・太陽電池モジュール、課題の固定部に緩みがないこと、基礎などが強度不足になるような劣化がないことを保守点検項目に従い巡視を実施

○豪雨による水害

- ・土砂崩れ等の兆候がないか、排水機能に異常がないか、保守点検項目に従い巡視を実施

<土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じ、又は周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合に予定している措置の内容>

- ・事故・災害が発生した場合には、迅速に状況を把握し、関係機関 (経済産業省、県など) に連絡をする。
- ・土砂の流出やパネルの飛散など周辺環境に影響を及ぼした場合は、速やかに撤去し、二次災害が起きないように対策を講じる。

<別紙>

太陽光を電気に変換する施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
太陽電池アレイ	■	太陽電池モジュール	表面及び裏面に著しい汚れ、きず、破損がない。	目視	4年に1回	
			端子箱に破損、変形がないか			
			フレームに著しい汚れ、きず、腐食、破損がない。			
	■	コネクタ	破損、変形がなく確実に結合されている。			
	■	ケーブル	配線に著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損がない。			
			配線に過剰な張力、余分な緩みがない。			
	■	電線管	破損、変形、汚損、腐食がなく正しく固定されている。			
	■	接地線	接地線に著しい破損、断線がなく正しく接続されている。			
			接続部に緩み、破損がない。			
	■	架台	基礎に著しいひずみ、損傷、ひびなどの破損が進行していない。			
架台の変形、きず、汚損、さび、腐食、破損がない。						
積雪による沈降、不等沈降、地際腐食等などの影響がない。						
ボルト、ナットの緩みがない。						
固定強度に不足の懸念がない。						
接続箱	□	本体	著しい汚損、さび、腐食、破損、変形がない。			
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。			
雨水、じんあい等の侵入がない。						
□	配線	配線に著しい汚損、破損、きず、さびがなく正しく固定されている。				
漏電遮断	■	本体	著しい汚れ、さび、腐食、破損、変形などがない。			
	■	配線	配線に著しいきず、破損がない。			
パワーコンディショナー	■	本体	著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損、変形がない。			
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。			
			コーキングなどの防水処理に異常がなく雨水などの侵入がない。			
			運転時の異常な音、振動、臭い、加熱がない			

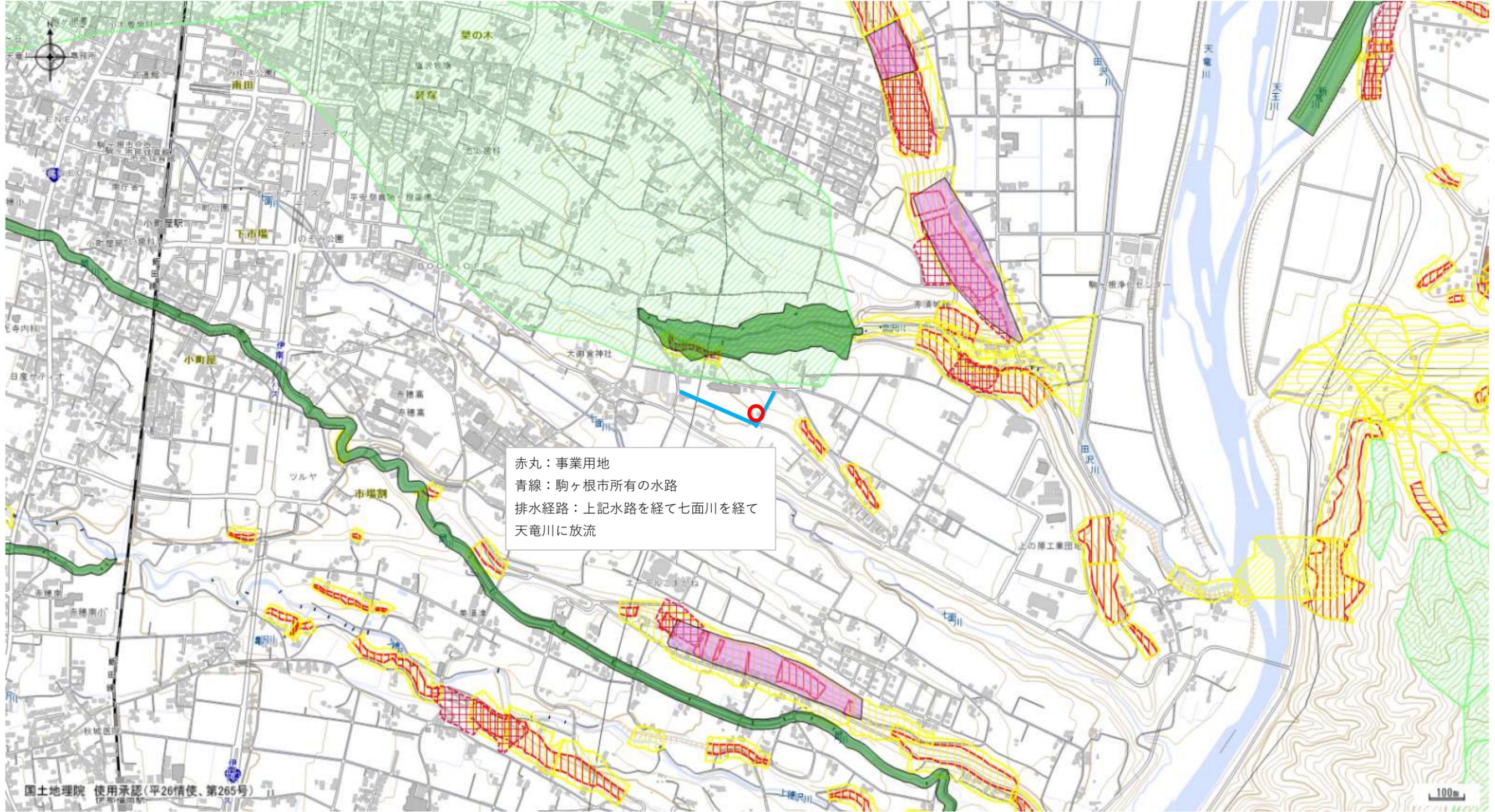
	■	配線	配線に著しい汚れ、破損、汚れ、さび、腐食、破損などがない。			
--	---	----	-------------------------------	--	--	--

附帯施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
法面・擁壁	□	切土法面	小段の沈下がない。	目視	4年に1回	
			排水溝の損傷がない。			
			目地にずれがない。			
			開口量の大きな亀裂が発生していない。			
			吹付工法等の剥離がない。			
			法枠工法等の破断がない。			
			はらみ出しの発生がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			崩落がない。			
			上部斜面からの土砂流出がない。			
	□	盛土法面	小段の沈下がない。			
			段差が発生していない。			
			排水溝の損傷がない。			
			法尻の崩落がない。			
			オーバーフローによる洗掘がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			湧水箇所の軟弱化がない。			
		擁壁	亀裂、割れが生じていない。			
			座屈、段差、傾斜がない。			
排水設備	□	排水溝、枡	水路に落下物等のつまり、堆積がない。			
			亀裂、ずれがない。			
			破損がない。			
			排水設備外への漏水がない。			
調整池	□	堤体	上下流の法面に崩れ、亀裂、損傷、陥没、漏水がない。			
			堤頂に亀裂、沈下、損傷、陥没、漏水がない。			
			草木の繁茂がない。			

	<input type="checkbox"/>	基礎	堤体の基礎に漏水、地山のはらみ出し、沈下、崩壊がない。				
	<input type="checkbox"/>	余水吐き	導流水路に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。				
			越流部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。				
			放流水路に亀裂、損傷、劣化及び継ぎ目の開きがない。				
	<input type="checkbox"/>	放流施設	規定の放流先以外への漏水、土砂の流出がない。				
			呑口部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。				
			吐き口に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。				
			油等の浮遊がない。				
	<input type="checkbox"/>	貯留部	法面に崩れ、亀裂、破損、湧水がない。				
			天端に損傷、沈下、陥没、損傷がない。				
			貯留部低地に著しい土砂の堆積がない。				
			油等の浮遊がない。				
	防護柵、堀	<input checked="" type="checkbox"/>	フェンス(防護柵)	著しいさび、きず、破損、傾斜がない。			
<input checked="" type="checkbox"/>		標識(事業計画、注意喚起)	視認性を損なう汚れ、文字の色落ち、擦れ、破損がない。				
<input checked="" type="checkbox"/>		入口扉	開閉に異常がなく施錠に問題がない。				
進入路・管理道	<input checked="" type="checkbox"/>	通路等	周辺からの土砂の流入、堆積がない。				
			事業地周辺への土砂の流出がない。				
			雨水等による洗掘がない。				
			草木の繁茂がない。				
設置地盤	<input type="checkbox"/>	舗装あり地盤	亀裂、剥離がない。				
			段差、傾斜がない。				
			空洞の発生(土砂の流出)がない。				
			隆起の発生がない。				
設置地盤	<input checked="" type="checkbox"/>	舗装なし地盤	周辺からの土砂の流入、堆積がない。				
			事業地周辺への土砂の流出がない。				
			雨水等による洗掘がない。				
			草木の繁茂がない。				

※施設の規模や立地、設備に応じた内容の点検項目を適宜追加・修正してください。





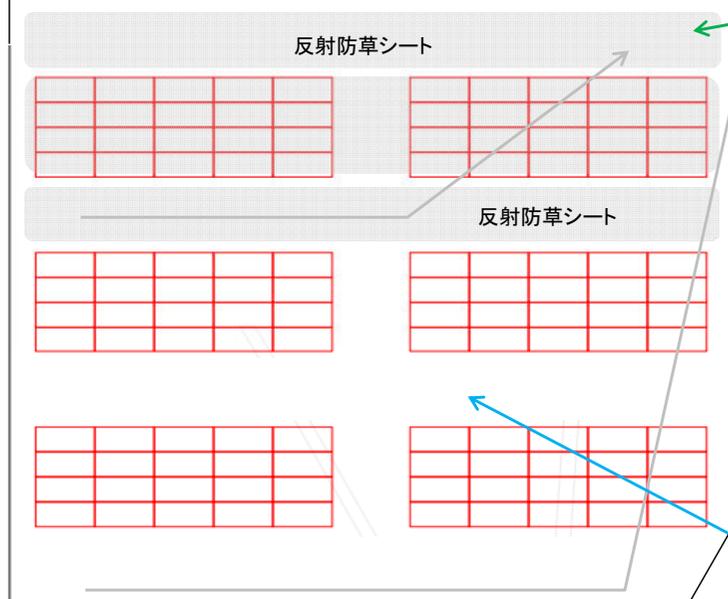


【排水調整池規格】
 ・素掘り(底部碎石敷き)
 ・L=4.0m W=3.0m D=0.5m

【反射防草シート規格】
 ・W=1.0m L=約120.0m



【対策雨水量計算根拠】
 ・対象地面積 950㎡
 内 ①太陽光モジュール、シート面積 428㎡
 内 ②間地面積 522㎡(草地)
 ・流失係数 ①0.9 ②0.2 検討流失係数0.52
 ・土壌種別 細砂(石混りの砂地)
 ・降雨強度 36.8mm/hr(5年/長野県飯伊地区)



※土壌採取場所、土質状況



※土壌採取場所、土質状況

2025年6月3日
 -長野県駒ヶ根市-

雨水排水敷地内浸透計画書

案件名	駒ヶ根リユース
-----	---------



ネクストエナジーアンド・リソース株式会社

設計	検閲	承認	シート	A3	縮尺	1/200
	-	-				

リパワリング工事 工程表

【駒ヶ根】工程表（説明会あり）		6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
再エネ特措法	事前周知措置資料の作成	■																										
	説明会の範囲の相談→駒ヶ根市に対して※終了	■																										
	事前周知措置資料の配布（本登録まで三か月待機）		■																									
	本登録※オンライン申請										■																	
	認定（12月15日予定）※本登録から三か月後																					■						
長野県条例	事前相談・事業基本計画の作成	■																										
	事業基本計画の提出/長野県の受理※その後2週間、長野県HPで公開																											
	説明会の開催																											
	意見・要望等の募集（30日）																											
	意見回答書の提出																											
	届出書の作成																											
	届出書・維持管理計画書提出 （着工30日前までに）																											
	工事着手届出・標識の提示																											
	工事完了届																											
工事	着工（12月中旬）・完工（1月末）																											
運転開始	引渡し・連系等（1月末～2月初旬）																											

9/15

12/15

14日

30日

30日

METI認定まで待機

工事用車両の経路



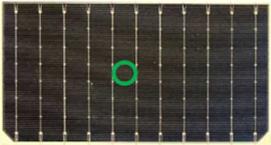
完成予想図

入替後設備のフォトモンタージュ



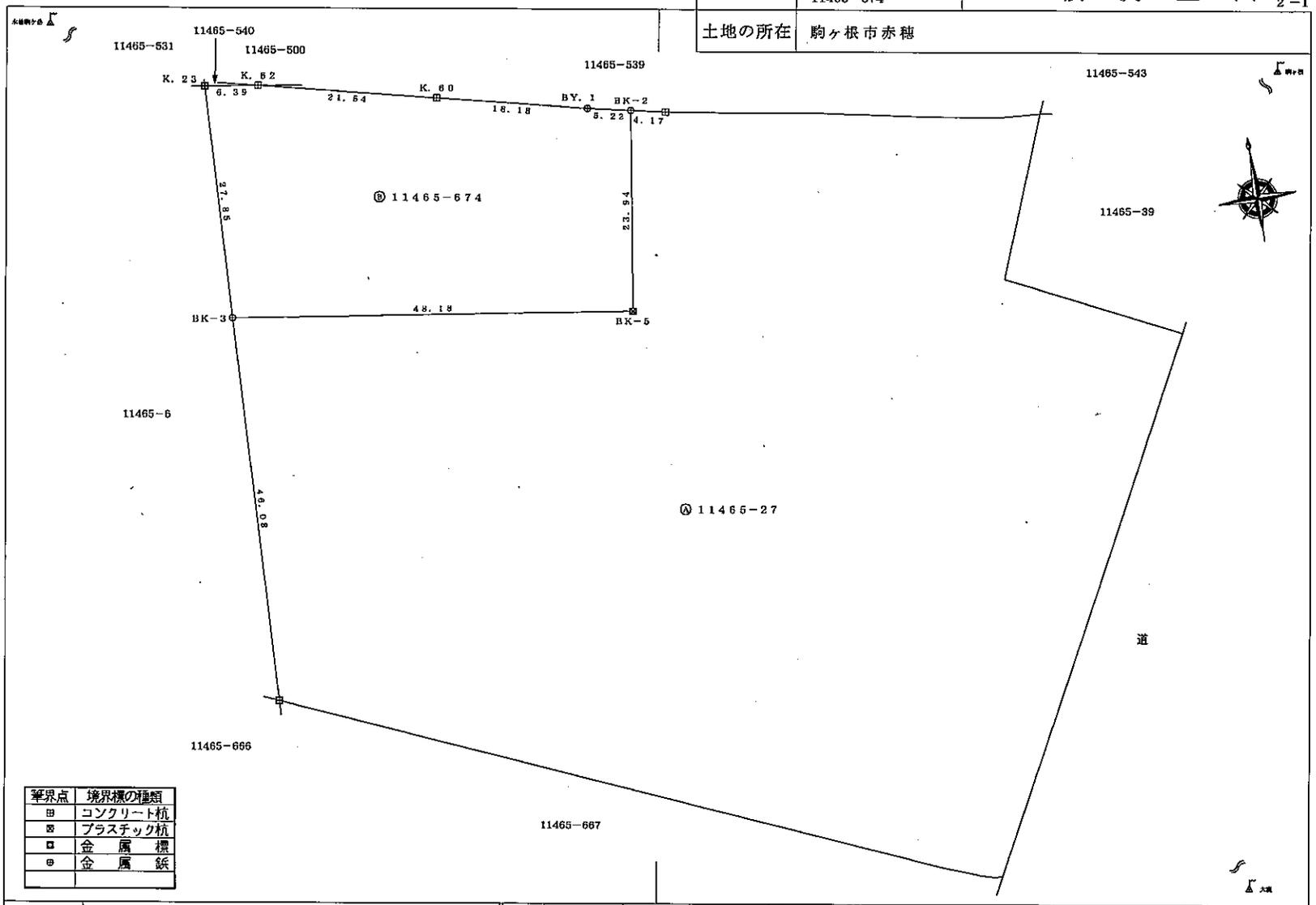
- ・実際に設置する太陽光発電設備（型式：NER156M590B-MDD ネクストエナジー製）の色彩は黒色であり、下記の図の通りである。太陽光パネルのマンセル値は、1.5PB(青紫)～8.2PB（青紫）/2.0/2.0 であり、明度・彩度共に非常に低い。

太陽光発電設備の色彩

対象部位	マンセル値	
太陽電池セル一般面 	色相	1.5PB～8.2PB
	明度	2
	彩度	2
アルミフレーム部（シルバー） 	色相	無彩色
	明度	8.7
	彩度	N

地番	11465-27 11465-674
土地の所在	駒ヶ根市赤穂

地積測量図 2-1



境界点	境界標の種類
田	コンクリート杭
罫	プラスチック杭
口	金属標
◎	金属紙

作成者		縮尺	1/	申請人		縮尺	1/500
		(平成22年 4月26日作成)					